

身近な危険物

面倒くさいが大ごとになんかどう？

危険物は、正しい保管・使い方、正しい捨て方を守って安全に！

NG 中身が残ったままの
スプレー缶をゴミに！

ごみ収集車で
火災発生！

スプレー缶は必ず使い切って
から捨てる（ガス抜きは通気性の良い屋外で）

NG ガソリンや灯油を
高温になる所に放置！

タンクから
噴出！

直射日光の当たる場所や高温
になる場所を避けて保管する

NG 静電気除去シートに
触れずに給油！

給油中に
火災！

静電気除去シートに必ずタッチ！
正しい操作手順で

NG リチウムイオンバッテリーを
そのままゴミに！

火災が
発生！

地域の回収方法を確認し、回収用
のリサイクルBOXに持ち込む

セルフガソリンスタンドの安全利用

あんぜん りょう

身近な危険物を取り扱う施設であるガソリンスタンドですが、スタンド利用者が原因となる事故が多発しています。



セルフスタンド利用時のポイント！

● ガソリンスタンド内は安全運転

ガソリンスタンド内には、様々な機器や他の車両があり、運転には十分な注意が必要です。

急発進、急ハンドルは避けましょう。



● 案内標示に従い駐車

矢印などの誘導に従い、白線などで示された場所に停車し、必ずエンジンを停止しましょう。



● 静電気除去シートにタッチ

給油キャップを開ける前に「静電気除去シート」に触れ、静電気を除去してから給油を始めましょう。



● 正しい操作で給油

選んだ油種の給油ノズルを取り、給油口の奥まで差し込み、レバーをしっかりと握って給油をしましょう。



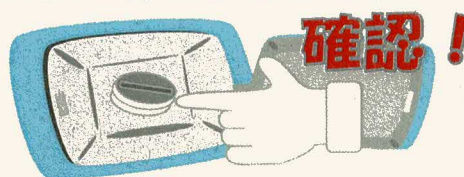
● 継ぎ足し給油をしない

満タンになると給油は自動的に停止します。吹きこぼれるおそれがあるので継ぎ足し給油はやめましょう。



● 給油キャップの置忘れ注意

給油口からガソリンや可燃性蒸気が漏れないよう、給油キャップは忘れずに締めましょう。



ようき こうにゅうじ ガソリンを容器へ購入時のルール

● 購入者の本人確認と具体的な使用目的の確認が必要です

消防法に基づき、購入者の本人確認と、具体的な使用目的の確認をすることがガソリンスタンドに義務付けられています。

販売したガソリンスタンドは、購入者の氏名・目的・購入量を記録し、1年を目安として保存しなければなりません。

本人確認を行うことができる書類

- ・ 運転免許証
- ・ パスポート
- ・ 公的機関が発行する写真付き証明書
- ・ マイナンバーカード

※ガソリンスタンドの会員証等で本人確認ができる場合や継続的な取引がある場合等には、本人確認が省略されることがあります。



● 購入者自らが容器にガソリンを入れることはできません

セルフスタンドでは利用客が自ら車両に給油することはできますが、利用客が容器にガソリンを入れることは認められていません。

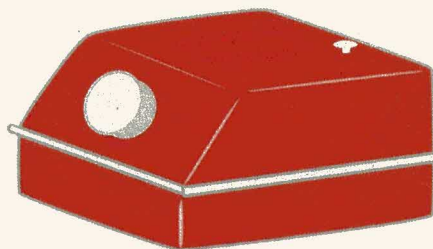
セルフスタンドでガソリンを容器で購入する場合は、従業員に依頼する必要があります。



● 法令に適合した容器が必要です

ガソリンを入れる容器は、材質や容量など様々な基準が法令で定められており、法令に適合した容器を使用しなければなりません。

灯油用のポリエチレン容器などは静電気による火災の危険があるので、絶対に使わないでください。



※上記のマークがついた容器は法令に適合していることが確認されています。

アウトドアと危険物

アウトドア用品には多くの危険物が使用されています。

安全にアウトドアを楽しむため 危険物や可燃性ガスが持つ危険性と事故を防ぐためのポイントを確認しましょう。

区分	物品	主な用途	性質、注意事項など
引火性液体	ホワイトガソリン	バーナー、ランタンなどの燃料	・揮発しやすく寒冷地でも着火しやすい ・静電気などでも着火する ・水をかけると燃え広がる
	メタノール エタノール	アルコールストーブなどの燃料	・炎が青白く明るい場所では見えづらい ・大量の水で簡単に消火できる
	灯 油	ストーブ、ランタンなどの燃料	・燃料に使用される身近な危険物 ・水をかけると燃え広がる
	パラフィンオイル	ランタンなどの燃料	・石油を蒸留して精製された液体 ・においが少なく煤が出にくい
引火性固体	ゼリー状着火剤	木炭などの火起こし	・メタノールが主成分で着火しやすい ・火を点けたら継ぎ足さないこと
可燃性ガス	プロパン イソブタン ブタン	バーナー、こんろなどの燃料	・ガスを液化しカートリッジに充填している ・プロパン比率が大きいほど高出力で、低温でも使用できる

引火性液体を使用するときの注意事項！

- ① 指定された燃料を使用しましょう。
- ② 燃料は 専用の容器に入れましょう。
- ③ 燃料を入れた容器の取扱いに注意しましょう。



ゼリー状着火剤を使用するときの注意事項！

- ① 着火剤の「継ぎ足し」は絶対に行わない。
- ② 着火剤を火気の近くに置かない。



小型消火器などを準備して使用しましょう！

きけんぶつ ふく かのうせい せいひん 危険物を含む可能性のある製品

身近にある危険物が入っているものは 使い方を間違えると火災が発生する危険があります。



車の燃料
(ガソリン、軽油)



ストーブの燃料
(灯油)



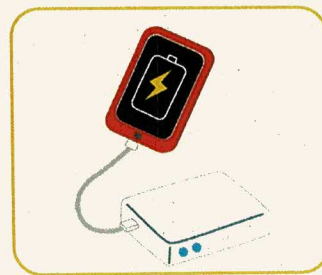
消毒用アルコール、
度数が高い酒類



アロマオイル、
動植物油



スプレー缶
(エアゾール製品)



モバイルバッテリー
(リチウムイオン電池)



着火剤、
固形燃料



花火

化粧品

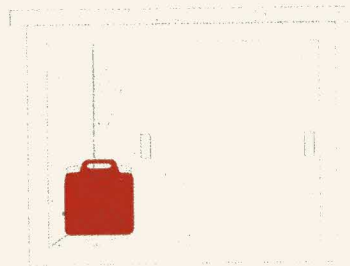
その他、危険物を含む可能性のある製品は数多くあります。

きけんぶつ しょう ちゅういじこう 危険物を使用するときの注意事項！

- 火気の近くでは使用しない
- 詰替えを行う場所では換気する



- 直射日光が当たる場所に保管しない



- 自治体の分別排出ルール・指示に従って正しく廃棄

